

令和6年度第1回技術者講習会

<プログラム>

「水生植物の植え替え」

大阪公立大学附属植物園は、絶滅危惧種を含む約100種の水生植物コレクションを有しています。毎年、冬季の休眠期に、屋外プールの水生植物を掘り上げて、土の入れ替えや施肥を行ったのち、再び植え戻す作業を行います。

これらの作業により、蓄積した植物遺体の除去、消費された栄養素の補充、旺盛な成長が期待される株の選抜が行われ、水生植物の成長と繁殖が促進されます。寒冷地においては、水が氷結しなくなる春先にこれらの作業を行うことにより、効果が見込まれると考えられます。また、ビオトープ管理に応用することも可能です。

以上を実習及び座学にて学び、各植物園の技術向上に役立てます。

13:00～ 受付開始 集合場所：研究棟講義室

※研究棟は、入口より緩いスロープの方向に進み、約150mです。園内マップ
(<https://www.omu.ac.jp/bg/about/map/>)でご確認いただけます。

13:30～15:30 実習「水生植物植え替えの現地見学、意見交換」

講師：竹下 博文（大阪公立大学附属植物園 技能統括主任）

15:30～16:30 園内ガイド

16:30～17:30 座学「園の歴史と活動の中での水生植物の役割」

講師：厚井 聡（大阪公立大学理学研究科 准教授）

<実習内容の詳細>

- 実習では、当園の職員が水生植物の掘り上げから、植栽プールの土の入れ替え、施肥、植物の植え戻しまでの一連の作業を行います。この様子を参加者の皆様に見学していただき、その場で質疑応答や意見交換を行います。
- 見学者の服装が汚れることはないと思われます。
- お足元は歩きやすいスニーカー等で、汚れても良いものでのご参加をおすすめします。

※講習会終了後、京阪電鉄枚方市駅近辺で懇親会を行ないません。懇親会の詳細は、後日ご連絡いたします。

< 植物園へのアクセス >

- 京阪交野（かたの）線「私市（きさいち）駅」下車、徒歩 6 分
- JR 学研都市線「河内磐船（かわちいわふね）駅」下車、徒歩 20 分
- お車でのお越しの方は事前にお知らせください。



< 宿泊について >

宿泊が必要な方は各自でご用意ください。京阪枚方市駅または京阪京橋駅付近などに宿泊されると便利です。